

ひがし交通だより

東警察署交通第一課
令和6年1月18日
令和6年号外

高校生の交通事故発生状況

1 東区内における高校生の交通事故発生状況

○ 高校生が第一当事者となった事故、もしくは第二当事者となった事故、東区内では令和元年から令和5年までの過去5年間に総数で132件発生し、第一当事者が16%、第二当事者が84%。

高校生は被害者となる事故が多く発生していますが加害者となる事故も16%発生。

- 多くは怪我の軽い事故ですが、高校生の自転車と歩行者が衝突、**歩行者が重傷を負う事故が2件発生。**
- 過去5年間では、毎年平均して26件発生。
- 月別では、6月(16件)と9月(15件)に多発。
- 曜日別では、水曜日(26件)に多発。
- 男女別では、男子が第一当事者で71%、第二当事者で66%を占める。
- 自転車事故総数のうち、高校生が当事者となる事故は、**第二当事者で約1割を占め職業別で第一位。**



2 高校生の交通事故の特徴

(1) 第一当事者となる事故

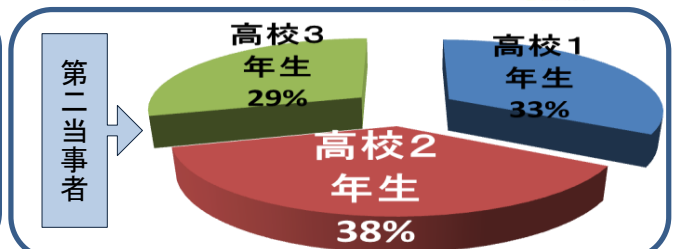
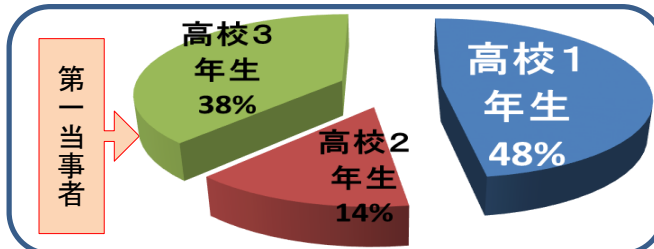
- ・ 事故類型… 事故の形態では、自転車乗車中等の**出会い頭**が最も多く**43%**、事故の相手方は、自動車が52%、歩行者との衝突も24%。
- ・ 通行目的… **下校時(29%)と登校時(21%)が多い。**

(2) 第二当事者となる事故

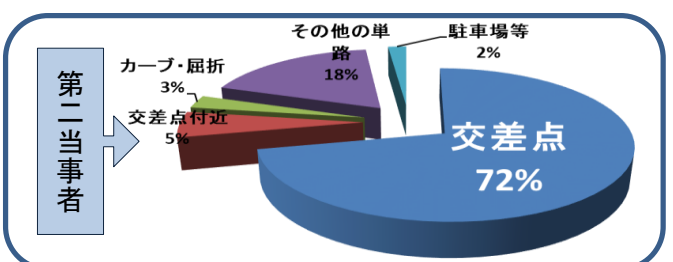
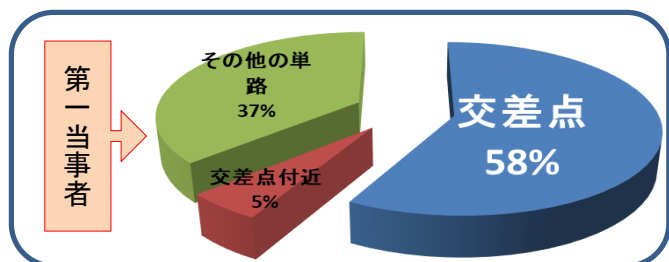
- ・ 事故類型… 事故の形態では、自転車乗車中等の**出会い頭**が最も多く51%、その他、自動車が左折時に自転車を巻き込む、いわゆる「巻き込み事故」や、右折する車との衝突が多く発生。**事故の相手方は自動車が93%。**
- ・ 通行目的… **登校時(22%)と下校時(12%)が多い。**

※ 第一当事者、第二当事者共に、学校への「登下校時」の事故が多く、**登下校は時間に余裕を持って行動を！**

(3) 学年別、第一当では1年生、第二当では2年生が多い！



(4) 第一当事者、第二当事者共に、事故の発生場所は交差点とその付近で多発。事故の原因は安全不確認や一時不停止、信号無視が多く、**交差点での安全確認とマナーの遵守が重要！**



高校生の皆さん！交通事故の被害を軽減するために頭部を守ることが重要です。

自転車利用時はヘルメットを着用し、大切な命を守りましょう！！